

## 「食欲中枢異常による難治性高度肥満症の実態調査」 (平成26～28年)にご参加いただいた患者さんへ 【追加治療データの調査研究への使用のお願い】

大分大学消化器外科では、東邦大学医療センター佐倉病院を中心に実施される「食欲中枢異常による難治性高度肥満症の実態調査（追加調査）」という臨床研究を分担研究者として行っております。この研究は、「食欲中枢異常による難治性高度肥満症の実態調査」において収集した情報に加えて、糖尿病罹病期間、インスリン使用の有無、糖尿病薬の使用数の推移に関する情報を追加収集することで、肥満外科治療後の糖尿病改善に関わる要因を調べることを主な目的としています。そのため、過去に肥満外科治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。以下の内容を確認してください。

○この調査研究は大分大学医学部倫理委員会で審査され、医学部長の承認を受けて行われます。

研究期間 令和2年7月20日 ～ 令和4年3月31日まで

対象調査期間 平成23年4月1日 ～ 令和2年3月31日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに肥満外科治療を受けた患者さんの診療時における糖尿病罹病期間、血液検査データなどです。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は東邦大学医療センター佐倉病院に帰属し、あなたには帰属しません。

○この調査研究は、東邦大学医療センター佐倉病院では厚生労働省科学研究費で行っており、本学では大分大学医学部消化器・小児外科学講座の寄付金を用いて実施されます。これらの資金は公的なものであり、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではないため、利益相反状態にはありません。（利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人との関係のことをいいます。）本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

もし、今回のデータ使用についてご協力いただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、ご協力の有無が今後の治療などに影響することはありません。

**【問い合わせ先】**

大分大学医学部附属病院消化器外科

大分大学 国際医療戦略研究推進センター 教授

研究責任者：太田 正之（おおた まさゆき）

T E L : 097-586-5843 F A X : 097-549-6039